

第4章 施策の展開と取組 P31～46

基本方針1 誰もがスポーツを楽しむ機会の創出

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
週1回以上スポーツを行っている市民の割合（成人）	53.2%	60.0%
体を動かすのが好きな児童・生徒の割合	83.1%	90.0%

【基本的方向】

- 勝敗や記録を競うものだけでなく、余暇時間や仕事時間等を問わず楽しみながら健康につながるスポーツ活動の普及・啓発を推進します。
- 年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが楽しみながらスポーツに取り組めるようスポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携してスポーツを楽しむ機会の創出に取り組めます。

【主な取組施策】

- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の促進
- ② 障害者スポーツの普及・促進 ほか

基本方針2 交流と連携によるスポーツ文化の形成

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
プロスポーツチームやスポーツ関係団体等との連携事業数	54 事業	65 事業
立川市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームの認知度（児童・生徒）	29.2%	40.0%

【基本的方向】

- 市内の多岐にわたる関係団体との連携関係や、これまで築き上げてきた市が有するスポーツ資源を未来に引き継ぐためのしくみづくりに取り組みます。
- 立川をホームタウンとするプロスポーツチームとの連携や、立川シティハーフマラソン大会等を通じて、多様な交流機会を創出し、スポーツを通じたシビックプライドの醸成に取り組めます。

【主な取組施策】

- ① 地域スポーツ団体との連携によるスポーツ活動の促進
- ② ホームタウンチーム等との連携・協働 ほか

基本方針3 スポーツ環境の充実

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
市スポーツ施設利用者数（屋内／屋外）	811,603 人	1,000,000 人
指導者講習会等への参加者数	7 人	15 人

【基本的方向】

- 多様化するスポーツニーズをとらえ、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことができるスポーツ施設の有効活用・利用促進に取り組めます。
- 市内の各スポーツ団体や地域の多様な人材がスポーツを通じて地域に貢献し、活躍できる環境づくりに取り組みます。

【主な取組施策】

- ① スポーツ施設の有効活用・利用促進
- ② 地域人材・組織の育成と環境づくりの促進 ほか

基本方針4 スポーツ施設の整備・マネジメント

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
スポーツ施設の中長期的な維持管理・整備計画の策定施設数	（新規）	26 施設
照明のLED化を実施した施設数	1 施設	5 施設

【基本的方向】

- スポーツ施設の今後のあり方や方向性を示した「体育施設のあり方」に基づき、安全で使いやすいスポーツ施設の整備に取り組めます。
- スポーツ施設の老朽化を見据え、施設の適正規模や配置、機能の集約化等の課題について多角的に検討するとともに、市民のスポーツニーズに応じたスポーツ施設環境の向上に取り組めます。

【主な取組施策】

- ① 持続可能なスポーツ施設の整備・充実
- ② スポーツ施設の維持管理

第5章 計画の推進体制 P47～47

1. 計画の市民等への周知と協働による推進
2. 計画の進行管理
3. 教育委員会や庁内各課との連携・協力
4. 立川市スポーツ推進審議会への進捗報告・意見聴取